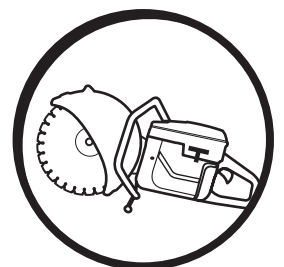


パワーカッター取扱説明書

K1250

パワーカッターをご使用になる前にこの
取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください。



Japanese

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味

警告！不注意な取扱や誤った取扱は作業
者や周囲の人などに深刻な、時には致命
的な傷害を引き起こすことがあります。



パワーカッターをご使用になる前にこの
取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください。



常に下記のことを着用してください。

- 保護ヘルメット
- イヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー
- 呼吸マスク



この製品は EC 指令に準拠しています。



警告！切断の際には粉塵が発生し、人体
に吸い込まれると危険です。適切な呼吸
マスクをご使用ください。ガソリンの蒸
気や排気を吸い込まないように注意し
てください。常に換気を十分に行ってくだ
さい。



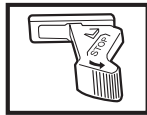
警告！カッティングブレードから発生す
る火花から以下の可燃物に引火するこ
とがあります。ガソリン、木材、乾燥
草など



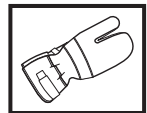
環境に対する騒音レベルは EC 指令に準
拠。本機の騒音レベルは、主要諸元の章
とステッカーに記載されています。



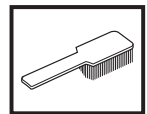
点検やメンテナンスを行うときは、まず
停止スイッチを STOP の位置にして、エ
ンジンを切ってください。



常に保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



目視点検



保護メガネまたはバイザーを必ず着用し
てください。



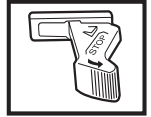
作動ポジション



停止、リターンズプリングは操作ポジ
ション



停止、固定ポジション



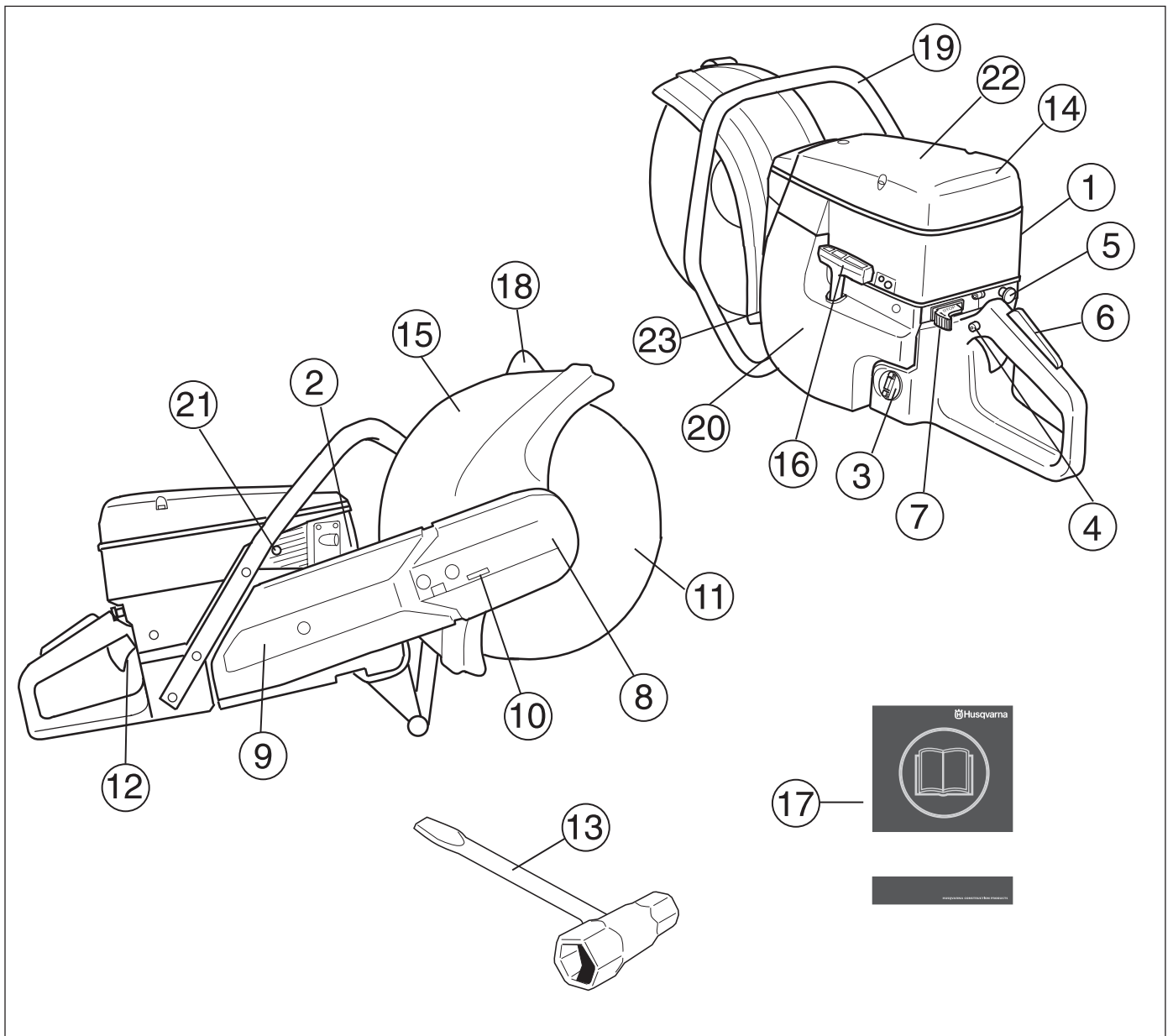
その他のシンボルやステッカーは、諸地域固有の各種基
準に対応したものです。

目次

目次

シンボルマークの意味	
シンボルマークの意味	2
目次	
目次	3
各部名称	
パワーカッターの各部名称	4
安全注意事項	
新しいパワーカッターをお使いになる前に	5
使用者の身体保護具	5
パワーカッターの安全装置	6
パワーカッター安全装置の点検・メンテナンス・サー ビス	7
安全に関する予備知識	8
一般的な作業方法	9
カッティングブレード	11
組立	
カッティングベッドの取付	13
ドライブアクスルとフランジワッシャの点検	13
カッティングブレードの取付	13
ブレード用ガード	13
燃料の取扱	
燃料	14
給油	14
始動と停止	
始動と停止	15
メンテナンス	
ドライブベルトの張り具合	16
ドライブベルトの交換	16
ベルトプーリーとクラッチ	16
キャブレター	16
燃料フィルター	17
エアフィルター	17
スターター装置	18
スパークプラグ	19
冷却システム	19
マフラー	19
一般的なメンテナンスの方法	20
主要諸元	
カッティング装置	21
EC 適合宣言	22

各部名称



パワーカッター各部の名称

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. シリンダカバー | 13. コンビレンチ |
| 2. マフラー | 14. エアフィルタ・カバー |
| 3. 燃料タンク | 15. ブレードガード |
| 4. スタータースロットル・キャッチ | 16. スターターハンドル |
| 5. チョーク | 17. 操作マニュアル |
| 6. スロットルトリガー・ロックアウト | 18. ブレードガードの調整ハンドル |
| 7. 停止スイッチ | 19. フロントハンドル |
| 8. カuttingヘッド | 20. スターター |
| 9. カuttingアーム | 21. デコンパバルブ |
| 10. ベルトテンションねじ | 22. 警告ステッカー |
| 11. カuttingブレード | 23. 型式銘板 |
| 12. スロットル・コントロール | |

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に

- 取扱説明書をよくお読みください。
- カuttingブレードの取付具合を点検します。「組立」の章を参照してください。
- エンジンを始動しアイドリングの設定を点検します。詳細は「メンテナンス」を参照してください。キャブレターが正しく設定されていると、Cuttingブレードはアイドリング時に静止状態になるはずで、アイドリング速度の設定は取扱説明書に記載されています。説明に従って、適切な速度に設定します。アイドリング速度を正しく調整せずにパワーカッターを使用しないでください。
- パートナー社の代理店にパワーカッターを点検、重要な調整、修理を依頼してください。



警告! いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機的设计に変更を加えないください。常に純正の付属品をお使いください。不認可的设计変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。



警告! 材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体に危険な化学物質含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。扱う材料の性質を理解して適切な粉塵マスクまたは呼吸用保護具を着用してください。



警告! 不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険であり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。



警告! 本機のイグニッションシステムは、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によってペースメーカーに影響を及ぼすことがあり得ます。重傷や致命傷の危険性を低減するため、ペースメーカーの使用者は、本機を使用する前にまず医師とペースメーカーの製造元に確認を取ることをおすすめします。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは継続的に製品の開発をおこなっています。ハスクバーナは設計や外見などを予告なく変更する権利を有し、また、デザイン変更をそのつど発表する義務を負いません。

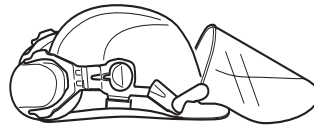
本書の情報およびデータのすべては、本書の印刷時に有効なものです。

使用者の身体保護具

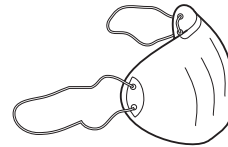


警告! 本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具を選ぶ場合は、パワーカッターの販売店にご相談ください。

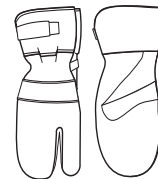
- 保護ヘルメット
- イヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー



- 呼吸マスク



- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋



- 体の動きを制限することのない、体にフィットした丈夫で快適な服装。



- 切断材料に応じて脚部保護の使用
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴。



- 常に救急箱を身近に備えてください。



安全注意事項

パワーカッターの安全装置

このセクションでは、パワーカッターの各種安全装置とその目的について、また、各安全装置が正しく機能するための点検やメンテナンスの方法について説明しています。安全装置の配置については「各部名称」を参照してください。



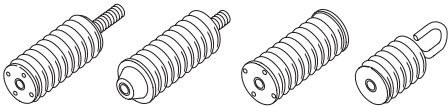
警告! 安全装置に欠陥のあるパワーカッターは決して使用しないでください! このセクションの説明にしたがって点検、メンテナンス、およびサービスを定期的に行ってください。

振動軽減システム

本機には振動軽減システムがついており、振動をやわらげ操作しやすいようになっています。

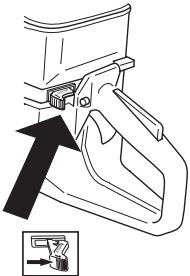
本機の振動軽減システムは、エンジンユニットやカッティング装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。

切断装置を含むエンジン本体は、振動軽減ユニットによってハンドルを振動から守っています。



停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。

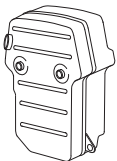


マフラー



警告! 使用中および使用直後のマフラーは非常に熱くなっています。熱くなっているマフラーには決して触れないでください!

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、直接、排気ガスから使用者を防ぐ働きをします。



警告! エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください!

重要事項

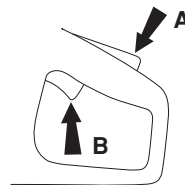
マフラーに関しては、点検、メンテナンス、およびサービスの指示に従うことが非常に重要です。詳細は「安全装置の点検・メンテナンス・サービス」を参照してください。



警告! マフラーには発ガン成分となり得る化学物質が使われています。万が一マフラーが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

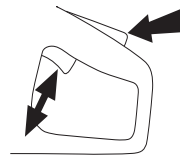
スロットルロック

スロットルトリガーロックはスロットルトリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) を押すと、スロットル (B) が解除されます。



スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。

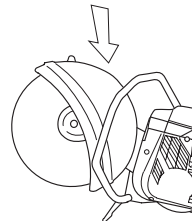
ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターンシステムが制御しています。この構造はつまり、スロットルトリガーが自動的にアイドル状態でロックされることを意味します。



ブレード用ガード




カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向かって飛ぶのを防ぐためのものです。



安全注意事項

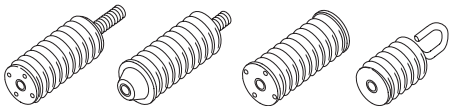
パワーカッター安全装置の点検・メンテナンス・サービス

 警告！本機のサービスや修理にはいずれも、特別な教育を必要とします。パワーカッターの安全装置に関しては、ことさらです。お持ちのパワーカッターの安全装置が下記の項目を一点でも満たさない場合は、必ずお近くのサービス代理店にご連絡ください。弊社では、製品お買い上げの際に、専門的な修理とサービスを保証しています。お買い上げになった販売店がサービス代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービス代理店の所在地をお問い合わせください。

振動軽減システム



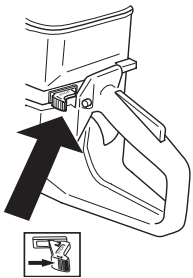
振動軽減ユニットにヒビや損傷がないか定期的に点検してください。



振動軽減ユニットがエンジンユニットとハンドルユニットにしっかり固定されていることを確認します。ハンドルは清潔にして乾燥した状態に保ってください。

停止スイッチ

エンジンを始動し、停止スイッチを停止の位置にすればエンジンが停止することを確認します。

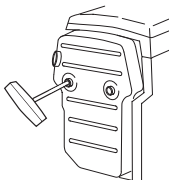


マフラー

欠陥のあるマフラーを装着したパワーカッターは決して使用しないでください。

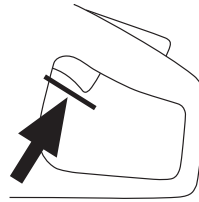


マフラーがパワーカッターにしっかりと固定されているかどうか、定期的に点検してください。

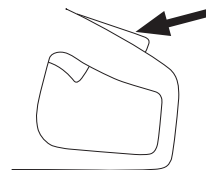


スロットルロック

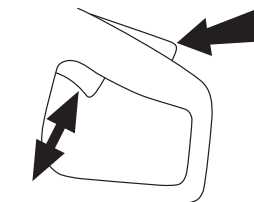
- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの設定になっていることを確認します。



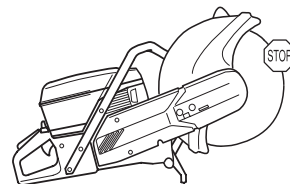
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンズプリングが正しく機能していることを点検します。




- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放せばカuttingブレードの回転が停止し静止状態を保つことを確認します。スロットルトリガーがアイドリングの位置にあるにもかかわらずカuttingブレードが回転する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。



- 詳細は「メンテナンス」を参照してください。

ブレードガードの点検

 警告！パワーカッターを始動する前に、ガードがしっかりと固定されているかどうか必ず点検してください。カuttingブレードが正しく取り付けられ、損傷していないことを確認してください。カuttingブレードが損傷していると、負傷の原因となることがあります。「組立」の説明を参照してください。

ガードに損傷がないか、ヒビや明らかな欠陥がないかどうかを点検します。

安全注意事項

安全に関する予備知識

- ・ パワーカッターはコンクリート・石材および鋼鉄・鉄のような硬質材料を切断するように設計されています。柔らかい材料を切断するとキックバックのリスクが高まることに注意してください。「キックバックの避け方」を参照してください。
- ・ パワーカッターをご使用になる前に、本書の内容をすべてお読みください。「パワーカッター安全装置の点検・メンテナンス・サービス」の項に記載された事項だけでなく、すべてのサービスは必ずトレーニングを受けた専門家が行ってください。
- ・ 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- ・ 身体保護具を着用してください。「使用者の身体保護具」を参照してください。
- ・ オリジナルの仕様を変更したパワーカッターは、絶対に使用しないでください。
- ・ 欠陥のあるパワーカッターは絶対に使用しないでください。本書の内容に従って、点検、メンテナンス、およびサービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家で行わなければならないものもあります。詳細は「メンテナンス」の項を参照してください。
- ・ 本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。
- ・ 本機を室内で始動しないでください。排気ガスを吸入すると危険です。

搬送と保管

カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、運搬しないでください。

パワーカッターは鍵のかかる場所に保管し、子供や使用権限のない者がアクセスできないようにしてください。

使用後はすべてのブレードを取り外し、注意してブレードを保管してください。カッティングブレードは乾燥した霜の発生しない場所に保管してください。

研磨ディスクは注意して取り扱ってください。研磨ディスクは必ず水平にして保管してください。ブレードに裏打ちパッドが同梱されている場合は、スペーサーを使用してブレードを平坦にします。研磨ディスクを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。

新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

燃料の安全について



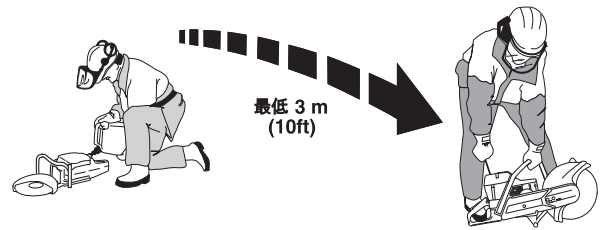
(給油・燃料の混合・保管)



警告! 燃料の取扱には十分注意してください。火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。

- ・ エンジンの作動中は絶対に給油を行わないでください。
- ・ 燃料の補給や混合（ガソリンと2サイクルオイル）を行うときは、十分に換気してください。

- ・ 給油後は、給油した場所から少なくとも3m離れたところで始動してください。



- ・ 下記の条件では、決して本機を始動しないでください。
 - 燃料がこぼれた場合、きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
 - 皮膚や衣服に燃料をこぼしたときはまず着替え、皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
 - 燃料が漏れている場合は、燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。
- ・ パワーカッターと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー/スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発生するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- ・ 燃料の保管には、保管専用に承認された容器を使用してください。
- ・ パワーカッターを長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリンスタンドにご相談ください。
- ・ 流出防止バルブの付いている HUSQVARNA の燃料容器を必ずご使用ください。



警告! 火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。給油の前にはエンジンを止めてください。燃料が溢れないように、給油は満タンにしないでください。地面やパワーカッターの上にこぼれた燃料を拭き取ってください。燃料が作業員または作業員の衣服にこぼれた場合、衣服を着替えてください。給油後は、給油した場所から少なくとも3m離れたところで始動してください。

安全注意事項

一般的な作業方法



警告! このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。しかし、ここに記載されている事項は、技術と経験をもつ専門家の知識にかなうものではありません。作業をしていて判断に迷う状況に遭遇した場合は作業を中断し、専門家のアドバイスを受けてください。パワーカッターをお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください!

安全に関する基本事項

- 周囲を見渡してください。
 - 近くの人や動物、または他の物がパワーカッターの操作に影響しないことを確認します。
 - 上記のいずれもカuttingブレードに接触することがないことを確認します。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは本機を使用しないでください。悪天候下での作業は疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- 作業場所にある障害物を片付け、足場を確保してから切断作業を開始してください。予期しない障害物が移動してぶつからないように、注意を払ってください。切断時に切断物が安定を失い倒れて、障害を引き起こさないように注意してください。斜面での作業は特に注意が必要です。
- 衣類や身体が回転するカutting装置に接触することがないことを確認してください。
- カutting装置が回転しているときは、安全距離を確保してください。
- パワーカッターが作動しているときには必ず、カutting装置用ガードを取り付けてください。
- 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- カutting装置が回転しているときは、パワーカッターを動かさないでください。
- 常に安全かつ安定した足場でパワーカッターを使用していることを確認してください。
- 配管や電気ケーブルが、切断作業場に配置されていないことを確認してください。



警告! 換気の良い場所でのみ本機を使用してください。これを怠ると死亡または重傷を負うことがあります。

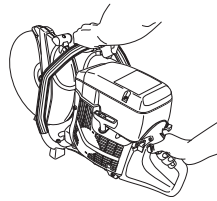
切断



警告! パワーカッターの安全距離は 15 メートルです。作業現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。作業場所にある障害物をクリアし、足場を確保してから切断作業を開始してください。

一般注意事項

- パワーカッターは最高速度で切断を開始してください。
- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と 4 本の指で包みこむようにしっかりとハンドルを握ります。

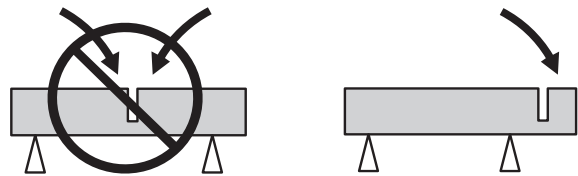


警告! 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。振動が原因と思われる症状が出たときは、医師に相談してください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

切断のテクニック

次に説明するテクニックは一般的なものです。各ブレードの切断特性に関する情報をお調べください（例えば、ダイヤモンドブレードは研磨ディスクよりもフィード圧が低いなど）。

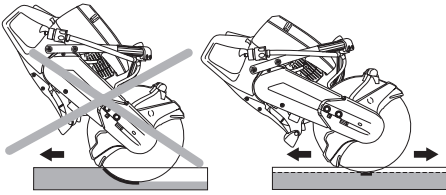
- 切断対象物は、次に何が起こるか予想でき、切断中に切断面が見えるような支え方をしてください。



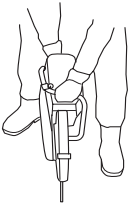
- パワーカッターを始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- 常に最高速度で切断してください。
- ゆっくりと切断を開始します。ブレードを無理やり押し込んだりせず、パワーカッターの自然な作動にまかせます。

安全注意事項

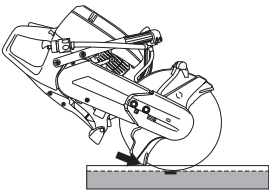
- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動しブレードと切断対象材料の間の接触部分を小さくします。これによりブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。



- パワーカッターはブレードの線上になるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力はブレードが損傷を受け、非常に危険です。



- カutting装置用ガードを適切に調整して後ろ側が切断対象材料と同一平面上になるようにします。ガードは切断物からの飛散物や火花が飛び散るのを妨ぎ、作業者を保護します。



警告！いかなる場合でもブレードの側面で切断するのは避けてください。損傷や破損を起こし、重大な損害の原因になります。刃先部分のみを使用してください。

パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。

ダイヤモンドブレードの目立て

ダイヤモンドブレードは間違ったフィード圧を加えたり、補強コンクリートのような材質を切断すると鈍くなります。鋭利に欠けたダイヤモンドブレードを使用するとオーバーヒートを起こし、ダイヤモンド粒子が脱落する原因になります。

砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

ブレードの振動

切断時にフィード圧を強くするとブレードは円形に歪みが生じたり、振動が起こることがあります。

フィード圧を弱くすると振動が止まります。それでも改善が見られない場合は、ブレードを交換してください。ブレードは必ず切断対象材料に合った推奨タイプのものを使用してください。

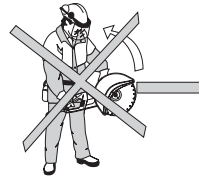
キックバックの避け方



警告！キックバックは突然激しく起こり、パワーカッターがはじき返されて、カuttingブレードが使用者に向かってくる現象を言います。カuttingブレードの回転中にキックバックが発生すると、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる理由を理解し、正しい技術と慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

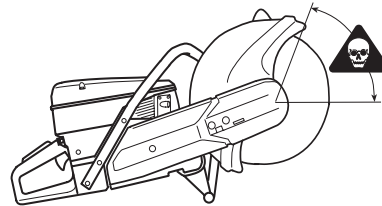
キックバックとは何か？

キックバックとは、ブレードの上部 1/4 のところ（キックバックゾーン）が何か他のものに接触し、パワーカッターとカuttingブレードが突然激しくはじき返される現象を言います。

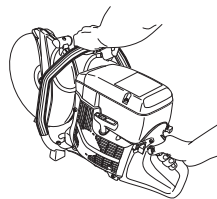


一般的な原則

- 絶対にカuttingブレードの先端上部 1/4（キックバックゾーン）で切断しないでください。



- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と 4 本の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。



- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 常に最高速度で切断してください。
- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

プルイン

プルインは、ディスクの下側の部分が突然停止したり切れ目が閉じたりするときに発生します。（これを避けるには、「安全に関する基本事項」と下記の「挟み込み／回転」を参照してください。）

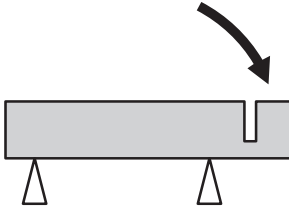
安全注意事項

挟み込み/回転

挟み込みは切れ目が閉じるときに起こります。挟み込みが起こると、パワーカッターが、突然、非常に強い力で下方向に引っ張られることがあります。

キックバックの避け方

切断対象物は、切断中および切断終了時に切断面が開いて見えるような支え方をしてください。



カッティングブレード



警告! カッティングブレードは炸裂し、作業者が損傷を受けることがあります。

パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを絶対に使用しないでください。

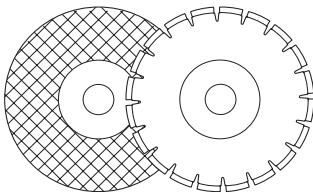
カッティングブレードを意図されていない材料には絶対に使用しないでください。



警告! ダイヤモンドブレードあるいはレスキューブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

一般注意事項

カッティングブレードは2種類の基本デザインがあります。研磨ディスクおよびダイヤモンドブレード。



パワーカッターを運搬するときは必ずカッティングブレードを取り外してください。

カッティングブレードに使用するブッシングがパワーカッターに合った正しいものであることを確認してください。「カッティングブレードの組立」を参照してください。

高品質のブレードは多くの場合、最も経済的になります。低品質のブレードを使用すると切断能力が劣化し、パワーカッターの耐用年数が短くなります。その結果、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。

水冷式



警告! 水冷式切断は、コンクリートを切断するときに行います。これにより、ブレードを冷やし耐用年数を長く保ち、また汚れが詰まるのを防ぐ効用もあります。主な欠点には、非常に低温では使いにくいこと、床やその他の建造部分を損傷する可能性があること、滑りやすくなる危険性があることなどがあげられます。

水冷式で研磨ディスクを使用した後、ディスクを30秒間乾燥させた状態で回転します。研磨ディスクを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。

携帯型、高速パワーカッター

弊社のカッティングブレードは携帯用高速パワーカッター用に製造されています。他社のブレードを使用する場合は、そのブレードがこのタイプのパワーカッター固有の必要条件を満たしていることを確認してください。

特殊ブレード

カッティングブレードの中には、固定装置やアタッチメント用に設計されたものがあります。これらのカッティングブレードは携帯用パワーカッターには使用できません。

地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。

研磨ディスク

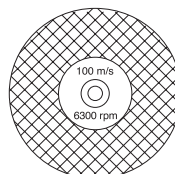
研磨ディスク上の切断素材は有機結合材で接着した粒子から構成されています。「補強ブレード」は繊維または繊維ベースの材料を使用しており、最高作動速度の際にブレードがヒビや損傷を受けても、完全に破損することを防止します。

カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。

研磨ディスク、タイプおよび使用方法

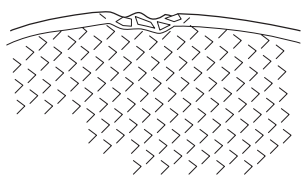
研磨ディスク、タイプおよび使用方法		
	使用方法	
ディスクタイプ	材料	水冷式
コンクリート	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真ちゅう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。	粉塵を軽減するために使用できます。研磨ディスクを水冷式で使用した後、乾燥した状態で約30秒間回転します。
金属	鉄、鉄合金、その他の硬質金属	推奨しません。

ブレードがエンジンの定格銘板に記載の速度あるいはそれ以上に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。



安全注意事項

ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



研磨ディスクを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ディスクから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。

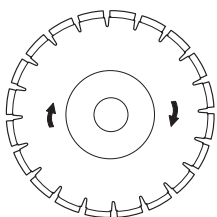


ダイヤモンドブレード

ダイヤモンドブレードは産業用ダイヤモンドを含む刃先が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。

ダイヤモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に係るコストを低減することができます。

ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。



常に鋭利なダイヤモンドブレードをお使いください。砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

ダイヤモンドブレードは、硬度の分類によって各種のモデルがあります。「ソフト」ダイヤモンドブレードは、耐用年数が比較的短く、切断能力は高いという特性があります。このブレードは花崗岩や硬化コンクリートのような硬度の高い材料に使用します。「ハード」ダイヤモンドブレードは、耐用年数が長く、切断能力は低いという特性を持ちます。レンガやアスファルトのような柔らかい材料に使用します。

材料

ダイヤモンドブレードは石材、補強コンクリート、その他の複合材料の切断に適しています。ダイヤモンドブレードは金属の切断にはおすすめしません。

湿式切断用ダイヤモンドブレード



警告! 湿式切断用ダイヤモンドブレードは継続的に水冷してオーバーヒートを防いでください。オーバーヒートが起こるとブレードが破損し、その破片が飛び散り、負傷の原因になります。

湿式切断用ダイヤモンドブレードは、切断中、ブレードの上に水をかけ、ブレードの温度を冷やします。また粉塵を固める効果もあります。

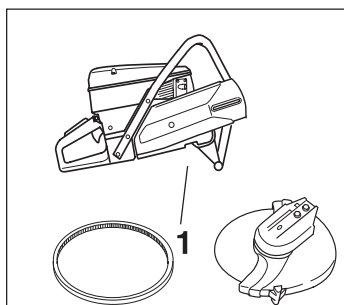
乾式切断用ダイヤモンドブレード

乾式切断用ダイヤモンドブレードは水冷を必要としない新世代のブレードです。それでもブレードは過度の熱で破損することがあります。これを防ぐ経済的な方法として、切断中、30～60秒間ごとにパワーカッターを切断物から離し、空中に約10秒間回転させブレードを冷やすこともできます。

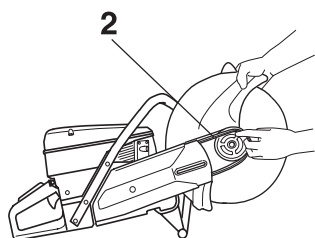
組立

カッティングヘッドの取付

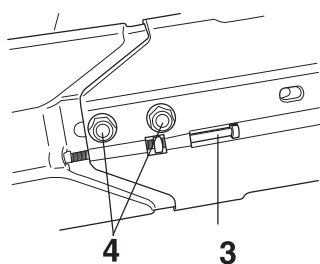
ナット(1)を取り外します。カバーをはずします。クラッチドラムにドライブベルトを取り付けます。カバーを元通りに取り付け、ナットを締めます。



ドライブベルトをカッティングヘッドのプーリ(2)に渡します。

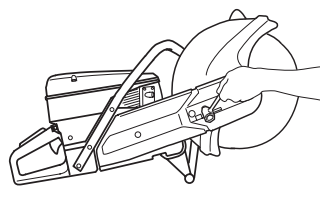


ベルトカバーの上をスライドさせ、カッティングヘッドをベルトガードと一緒に固定します。両方のボルト(4)を手で締めます。



テンションねじ(3)を、四角ナットがベルトガードの矢印と同方向になるようにねじ込みます。ヘッド部を揺らして、バネでベルトが確実に張れるようにします。こうすると、ベルトの張りが自動的に調整されます。コンビレンチを使用し、両方のボルト(4)を締めます。

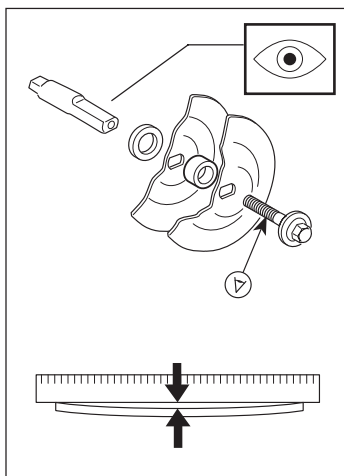
注意! ベルトを新しく取り付けた後のベルトの張りは、燃料を最初の2タンク分使用した後必ず再調整してください。



ドライブシャフトとフランジの点検

・ドライブシャフトのねじ山に損傷がないかどうかを確認します。

・カッティングブレードとフランジの接触面が平らであり、スピンドルの周りを正確に回転し、異物が混入していないかどうかを確認します。



曲がっていたり、角がかけていたり、不的確であったり、または汚れているフランジは使わないでください。違ったサイズのフランジも使わないでください。

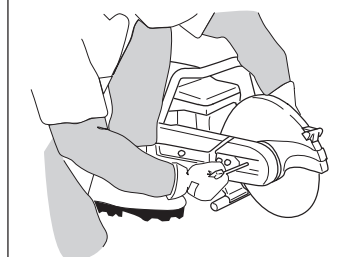
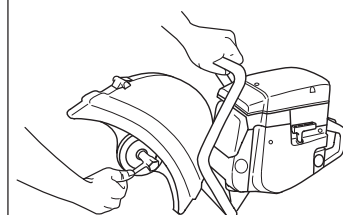
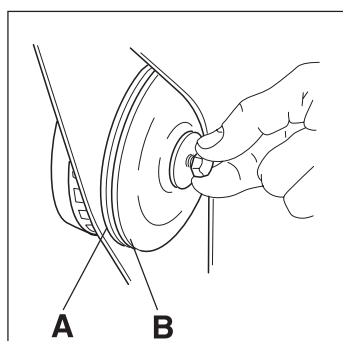
カッティングブレードの取付

Husqvarnaのカッティングブレードはフリーハンドでの切削用に製造され認可されています。ブレードの両サイドに紙ラベルがあり、フランジワッシャの圧力を分散させブレードが滑らないようにしています。

ブレードは、フランジハブ(A)とフランジワッシャ(B)の間に挟み込まれます。フランジワッシャを回し、フランジハブに合うようにします。ソケットスパナー501 69 17-02を使用してカッティングブレードを締め付けます。

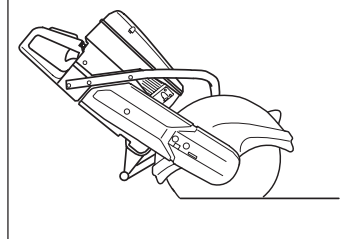
シャフトは、ドライバや鋼鉄製のピン、または同様のものを使用してロックできます。ピン等を止まるまで挿入します。ブレードは時計回りの方向に締め付けます。

ブレードをとめているボルトの締め付けトルクは次の通りです。15 ~ 25 Nm (130 ~ 215 in. lb)。



ブレードガード

ブレードガードは必ずパワーカッターに取り付けてください。ガードは、後部が加工対象物の方を向くように調整してください。切削くずや火花がガードによって集められ、使用者から隔てられます。



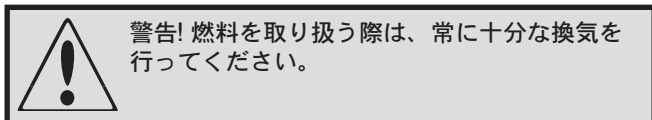
警告!

16インチブレードおよびブレードガードを使用する場合は、もともと16"ブレードガードが装備されているパワーカッターだけを使用してください。もともと14"ブレードガードが装備されているパワーカッターにスペアパーツとしてブレードガードを取り付けた場合は、16"カッティングブレードの回転が速くなりすぎます。回転が速すぎるとカッティングブレードは破裂し、大きな怪我や損害を引き起こす可能性があります。

燃料の取扱

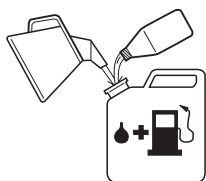
燃料

注意! 本機は 2 サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと 2 サイクルエンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。



ガソリン

- 無鉛または有鉛の良質なガソリンをご使用ください。



- 推奨される最低オクタン価は 90 です。90 以下のオクタン価でエンジンを作動させると、ノッキングの原因となることがあります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる可能性があります。

2 サイクルオイル

- 最良の効果を得るに、HUSQVARNA 2 サイクルオイルをご使用ください。このオイルは本機の 2 サイクルエンジン用として特別に作られています。
- アウトボードオイル (TCW) と呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。
- 品質が悪いオイル、またはオイル/燃料の混合比が高すぎる場合は、触媒コンバーターの機能を損ない、耐用年数を短縮させることがあります。

混合比

1:50 (2%)、HUSQVARNA 2 サイクルオイル

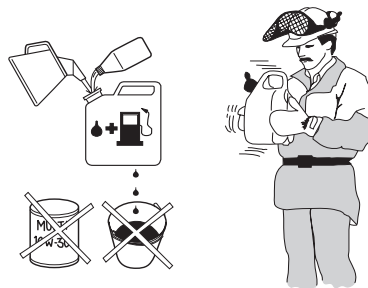
1:33 (3%)、オイルクラス JASO FB または空冷 2 サイクルエンジン ISO EGB。

ガソリン、リットル	2 サイクルオイル、リットル	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0.10	0.15
10	0.20	0.30
15	0.30	0.45
20	0.40	0.60

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次にオイルの全量を入れ、燃料の混合物を良く混ぜ (振り) ます。最後に残りのガソリンを加えます。

- パワーカッターの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ (振り) ます。
- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。
- パワーカッターをしばらく使わないときは、燃料タンクを空にし、清掃してください。



給油



警告! 火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料付近で喫煙したり、近くに高温の物を置かないでください。

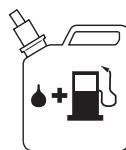
給油の際には必ずエンジンを止めてください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

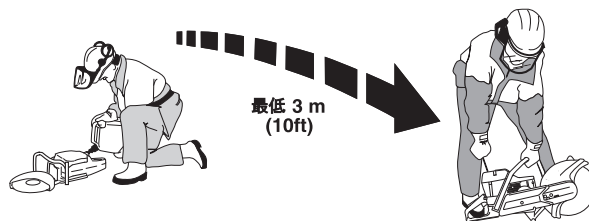
給油後は燃料キャップをしっかりと閉めてください。

パワーカッターを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

- ハンドル部は乾いており、オイルや燃料が付着しないように気をつけてください。
- 混合燃料は、給油前に容器を良く振って混ぜてください。



- 給油を行うときは、常に注意を払ってください。給油後は、給油した場所から少なくとも 3 m 離れたところで始動してください。燃料キャップが正しく締まっていることを確認してください。



- 燃料キャップの周囲をきれいにします。燃料タンクとオイルタンクは、定期的な清掃が必要です。燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。タンク内の汚れは故障の原因となります。

始動と停止

始動と停止



警告! 始動に当たっては、下記の注意点を守ってください。

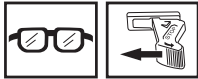
ベルトガードを取り付けずにパワーカッターを始動しないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

パワーカッターを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

パワーカッターを正しく持ちカッティングブレードが物に当たることなく自由に回転するようにしてください。

作業現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

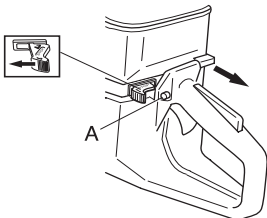
冷機エンジンの始動



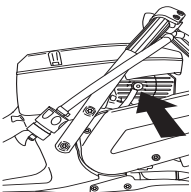
イグニッション: イグニッションスイッチを左にスライドさせます。

チョーク: チョークコントロールを完全に引きます。

スロットルロックの始動 スロットルトリガーロック、スロットルトリガーを押し、次にスロットルロック (A) を始動します。スロットルトリガーを放せばハーフスロットルの位置でロックされます。スロットルトリガーを完全に押すとロックは開放されます。

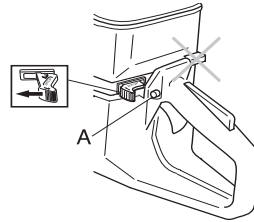


自動デコンパルブ パワーカッターには自動デコンパルブが搭載されており、パワーカッターの始動を容易にします。



暖機エンジンの始動

始動方法は冷機エンジンとほぼ同様ですが、チョークコントロールをチョークの位置に入れません。



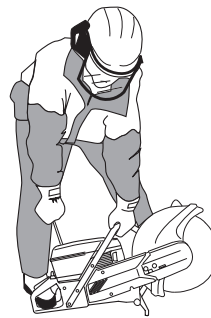
始動



警告! カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。ブレードが自由に回転することを確認してください。

左手で前ハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。

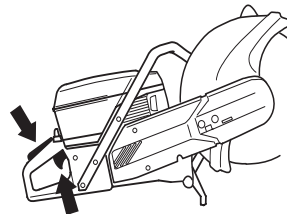
スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



右手でスターターハンドルを握り、抵抗を感じる（歯止めにかかる）までゆっくりとスターターロープを引き出します。次に素早く、強くロープを引っ張り張ります。

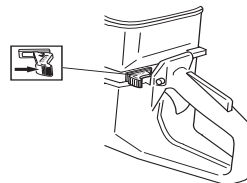
注意! スターターロープをいっぱい引き出し、引っ張った状態からスターターハンドルを急に放さないでください。パワーカッターに損傷を与える可能性があります。

エンジンが始動したら、すぐフルスロットルにし、高速アイドルリングに自動開放します。



停止

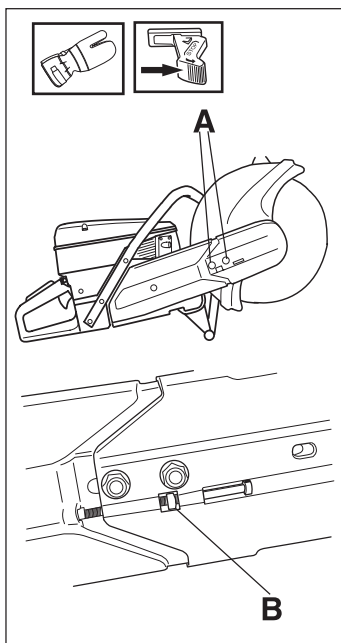
停止スイッチを停止の位置にすればイグニッションがオフになり、エンジンが停止します。



メンテナンス

ドライブベルトの調整

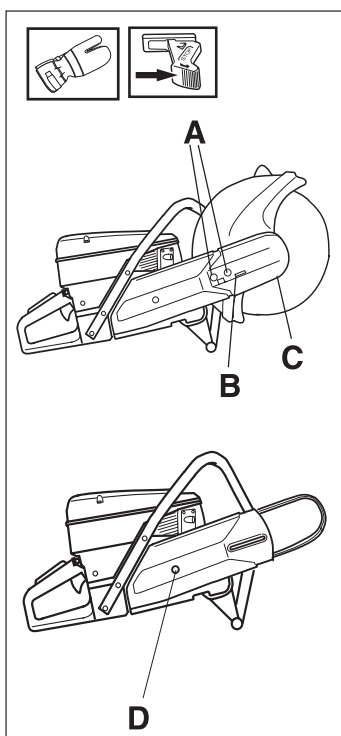
- ・ドライブベルトは完全密閉され、ほこりやどろ、切削過程での機械的影響から効果的に保護されています。
- ・ドライブベルトに張りを与えるために、ねじ(A)を少し緩めます。こうするとカッピングヘッドとベルトガードが安定しません。
- ・テンションねじを回して、ナット(B)がカバーの矢印の真下にくるようにします。ヘッドを振り、パネによって確実にベルトが張れるようにします。こうするとベルトには自動的に適正な張りが与えられます。
- ・カッピングヘッドを固定するねじを締め付けます。



重要事項!新しいドライブベルトは、燃料を1または2タンク分使用した後、張りの調整をしてください。

ドライブベルトの交換

- ・2個のねじ(A)を緩めます。
- ・張りが緩むまでテンションねじ(B)を緩めます。
- ・2個のねじ(A)を取り外します。
- ・フロントベルトカバー(C)を取り外します。
- ・プーリーからベルトを取り外します。
- ・カッピングヘッドを取り外します。
- ・ねじ(D)を取り外します。サイドカバーを取り外します。
- ・ドライブベルトを交換します。
- ・組み立てるには、分解した手順を逆にたどります。
- ・ひび割れや他の損傷の兆候がないか、ブレードガードを調べます。もし損傷があれば交換します。



警告!パワーカッターを使用する場合は、必ずカッピングブレードにブレードガードをかぶせてください。

ベルトプーリーとクラッチ

ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために取り外されているときは、決してエンジンを始動しないでください。

キャブレター

ご使用の Husqvarna 製品は、有害排気を減少させる仕様に基づき設計され製造されています。燃料タンク8~10回使用すると、そのエンジンの慣らし運転が終了したことになります。慣らし運転終了後、最高の性能を維持し、有害物質の排出を最低限に抑えるには、回転計を備える信頼できるサービスディーラーに、キャブレターの調整を依頼してください。

動作、最終設定



警告! カッピングアームやカッピングヘッドを取り付けしないで、パワーカッターを始動しないでください。さもないとクラッチが緩み人体傷害につながる恐れがあります。

動作、最終設定

- ・キャブレターはスロットルによるエンジンスピードの制御が行われます。空気/燃料がキャブレターの中で混合されます。

高速ノズル

キャブレターには、エンジンが確実に適正な空気燃料混合物を受け取るための固定 H-ノズルが装備されています。エンジンのパワーが不足したり加速が不十分な場合は、以下を実行してください:

- ・エアフィルターを点検し、必要に応じて交換する。
- ・効果がなければ、弊社指定のサービスセンターに連絡する。

低速スクリューL

スロットルを2回全開にして、カッターがよどみなく加速するかどうかを確認します。

Lの基本設定: 1 1/4 回転開き

調整が必要な場合は、最大アイドリング速度にしてみます。それには、エンジンが燃料枯渇状態になるまで、低速スクリューLを時計方向にゆっくりと回しながら閉じます。それから、1/8 (反時計方向に) 回転分開きます。

エンジン加速の点検

注意!

低速スクリューをあまり絞り込む (Lスクリューを閉じすぎる) と、エンジンが始動困難になります。

アイドリング速度の最終設定T

アイドリング速度をTスクリューで調整します。再調整が必要ななら、ブレードが回転し始めるまで、先ずアイドリング速度調整Tスクリューを時計方向に回します。次に、ブレードが停止するまで反時計方向に回します。エンジンがすべての位置で円滑に作動する場合には、アイドリングの速度設定の調整も適正におこなわれています。またこの時、ブレードが回転し始めるまでのエンジン回転数にも、十分な余裕があるはずで

推奨アイドリング速度: 2500rpm



アイドリング速度を調整しても、ブレードを停止させるような設定に調整できない場合は、サービスディーラーにご連絡ください。パワーカッターは、正しく調整するか修理するまでは使用しないでください。

燃料フィルタ

- ・燃料フィルタは燃料タンクの内部にあります。
- ・燃料タンクに給油するときは、不純物が入らないようにしてください。燃料フィルタの目詰まりによる動作不全の危険性が減少します。
- ・フィルタが目詰まりした場合、清掃することはできません。新しいものと交換してください。フィルターは最低でも年に1回は交換すべきです。

エアフィルタ

以下を回避するためには、エアフィルタの埃やゴミを取り除いて定期的に掃除してください。

- ・キャブレターの故障
- ・始動不良
- ・エンジン出力の減少
- ・エンジン部品の余計な損耗
- ・異常な燃料消費



エアフィルタはメインフィルタと予備フィルタで構成されています。

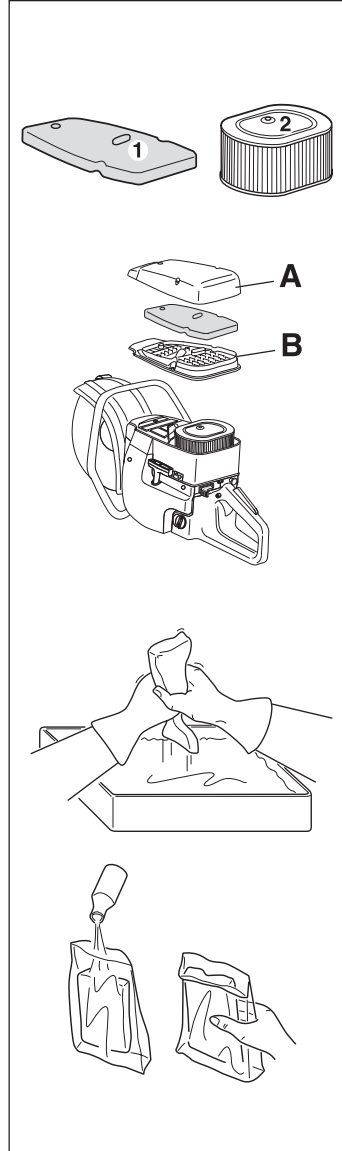
- 1) メインフィルタはオイルが注入された気泡フィルタで、カバーAの下でアクセスが簡単になっています。埃っぽい環境で使用する場合は、燃料タンクの2回分を消費するたびにこのフィルターを検査/交換してください。フィルタは必ず定期的に清掃しオイルを注入して、十分なフィルタ効果を確認できるようにしてください。そのために特製のHUSQVARNAオイルが製造されています。

- ・フィルタを取り外し、石鹼水の中でフィルターを丁寧に洗ってください。石鹼水で洗った後はきれいな水で十分にすすぎ洗いをしてください。フィルターの水を絞り出し、乾かしてください。注意! 高圧の圧縮空気を使用すると気泡が損傷を受ける可能性があります。

- ・フィルタにオイルを丁寧に注入してください。フィルタ全体にオイルをたっぷりしみこませます。これは大変重要なことです。

- 2) 予備フィルタは紙のフィルタで、カバーBの下からアクセスできます。このフィルタは、エンジン出力が低下したときまたは1~2週間後に交換/清掃を行ってください。フィルタは、上下左右に振ったり慎重に圧縮空気を使用して清掃します。注意! このフィルタは洗わないでください。

長期間使用したフィルタを完全にきれいにすることはできません。したがって、すべてのエアフィルタはそれぞれ定期的に新しいものと交換しなければなりません。痛んだエアフィルタは必ず交換してください。



重要事項!

エアフィルタへの十分な注意を怠ると、スパークプラグに付着物が生じ結果としてエンジンの部品が異常に損耗します。

メンテナンス

スターター



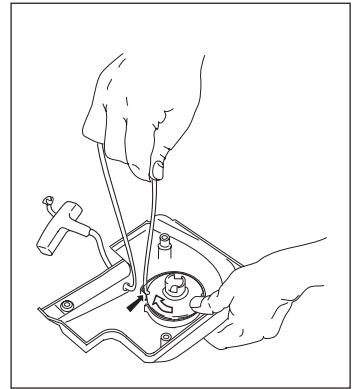
警告!

- ・リコイルスプリングは、引っ張られた格好でスターターハウジングの中に取まっているので、不注意に扱うと飛び出し人的傷害を招く可能性があります。
- ・リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、注意深くおこなってください。常に保護めがねを着用してください。

リコイルスプリングの伸張

- ・スターターロープをプーリの切欠部から引っ張り上げ、プーリを時計方向に約2回転させます。

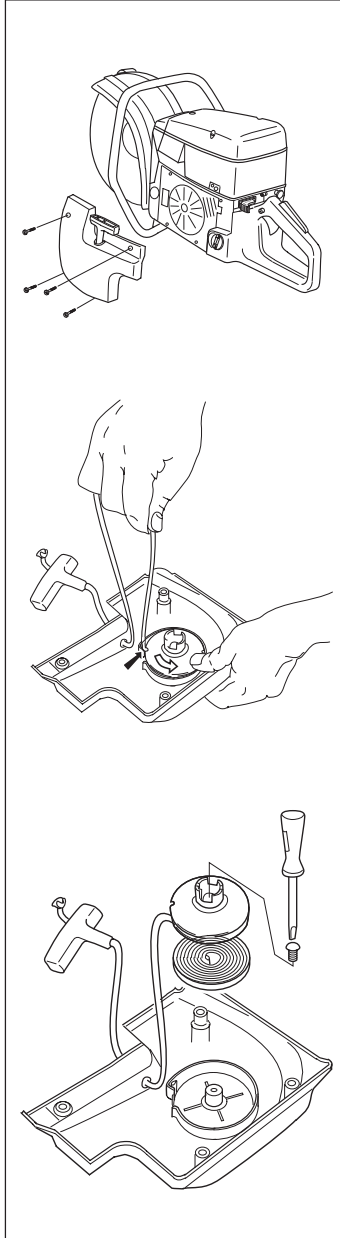
注意!スターターロープを完全に伸ばしたときに、スタータープーリが確実に少なくともさらに半回転できるようにしておいてください。



切れたりすり減ったりしたスターターロープの交換



- ・スターターをクランク室に固定しているボルトを緩め、スターターユニットを引き離します。



- ・ロープを約30cm引き出し、スタータープーリ外周の切欠部にロープを欠けます。プーリをゆっくり逆回転させ、リコイルスプリングの張力を解放します。

- ・スタータープーリの中心にあるねじを緩め、プーリを引き上げます。スターターロープをスタータープーリに挿入し固定します。ロープをプーリに約3回転分巻き付けます。リコイルスプリングの端がプーリに引っかかるように、プーリをリコイルスプリングに取り付けます。プーリの中心にねじを取り付けます。スターターロープをスターターハウジングの穴とスターターハンドルの穴に通します。ロープの端にしっかりと結び目を作ります。

破損したリコイルスプリングの交換

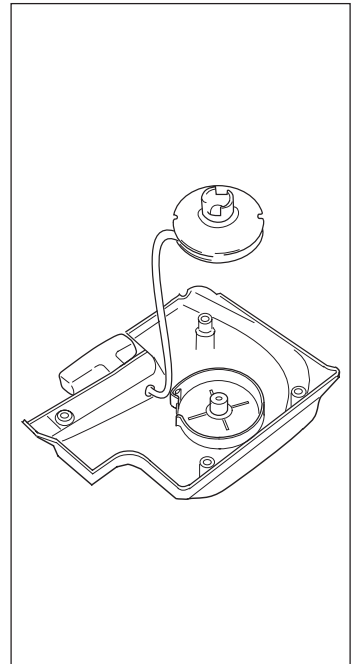


- ・スタータープーリを持ち上げます。（「切れたり摩耗したりしたスターターロープの交換」を参照してください。）

- ・バネカセットを固定しているねじを緩めます。

- ・プーリを（その内側を下に向けて）作業台やそれと同様のものに対してコツコツと軽く叩きつけて、リコイルスプリングをはずします。組立のときバネが飛び出す場合は、バネを中心に付けて出し入れしながら付け直してください。

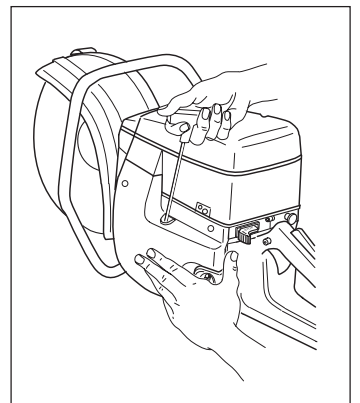
- ・リコイルスプリングに薄いオイルをさします。スタータープーリを取り付け、リコイルスプリングを引っ張ります。



スターターの取付

- ・スターターロープを引き出した後で、スターターをクランク室の上の所定の位置に置き取り付けます。プーリの中でつめがかむように、スターターロープをゆっくり放すことはさけます。

- ・スターターを固定するねじを装着し締め付けます。



メンテナンス

点火装置

スパークプラグ

スパークプラグの状態は、次の原因によって悪化します。

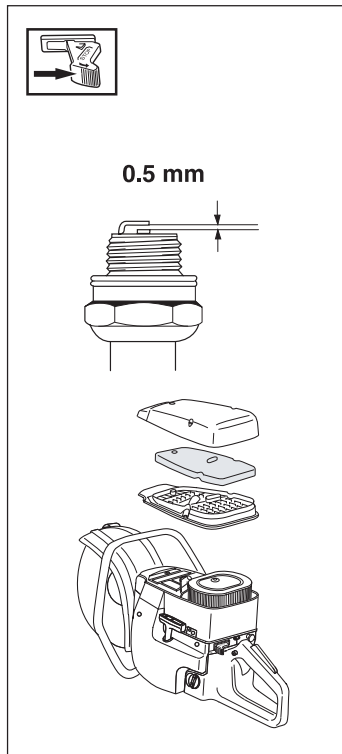
- ・不適切なキャブレターの設定
- ・不適切な混合燃料（オイルが多すぎるなど）
- ・汚れたエアフィルタ

これらが原因となってスパークプラグの電極に付着物が生じ、結果として故障や始動不良を起こす可能性があります。

- ・出力が低い、始動困難、アイドリング中の走行不良などの場合、**まず始めにスパークプラグを点検してください。**

スパークプラグが汚れている場合清掃し、電極間隔が0.5mm (0.020") になっているかどうかを確かめます。

スパークプラグは、運転約1ヶ月後、または必要に応じてそれよりも早く交換してください。



注意！ スパークプラグは必ず推奨タイプのものをご使用ください。（「主要諸元」の章を参照してください）不適切なスパークプラグを使用するとシリンダ/ピストンを損傷する恐れがあります。

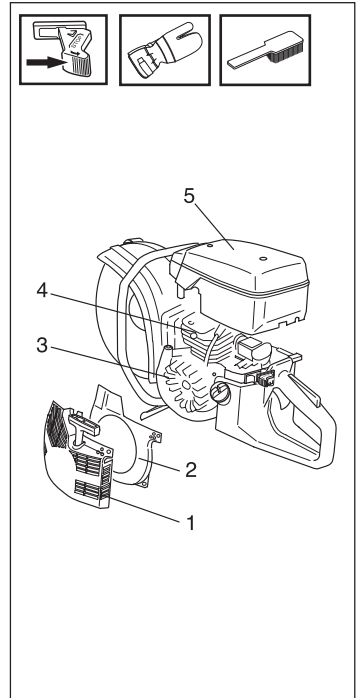
冷却システム

運転中の温度をできるだけ低く保つために、パワーカッターは冷却システムを装備しています。

冷却システムは次のもので構成されています。

1. スターター装置の空気取り入れ口
2. 通気ガイド
3. フライホイールの冷却フィン
4. シリンダの冷却フィン
5. シリンダーカバー（シリンダーに冷たい空気を送る）

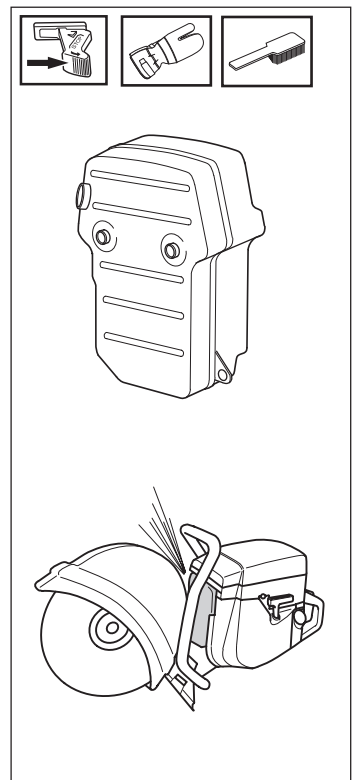
冷却システムは、週に1回、過酷な条件での使用なら2回以上、ブラシを使用して清掃します。冷却システムが詰まったり汚れていたりすると、エンジンが加熱し、その結果シリンダーとピストンが損なわれることになります。



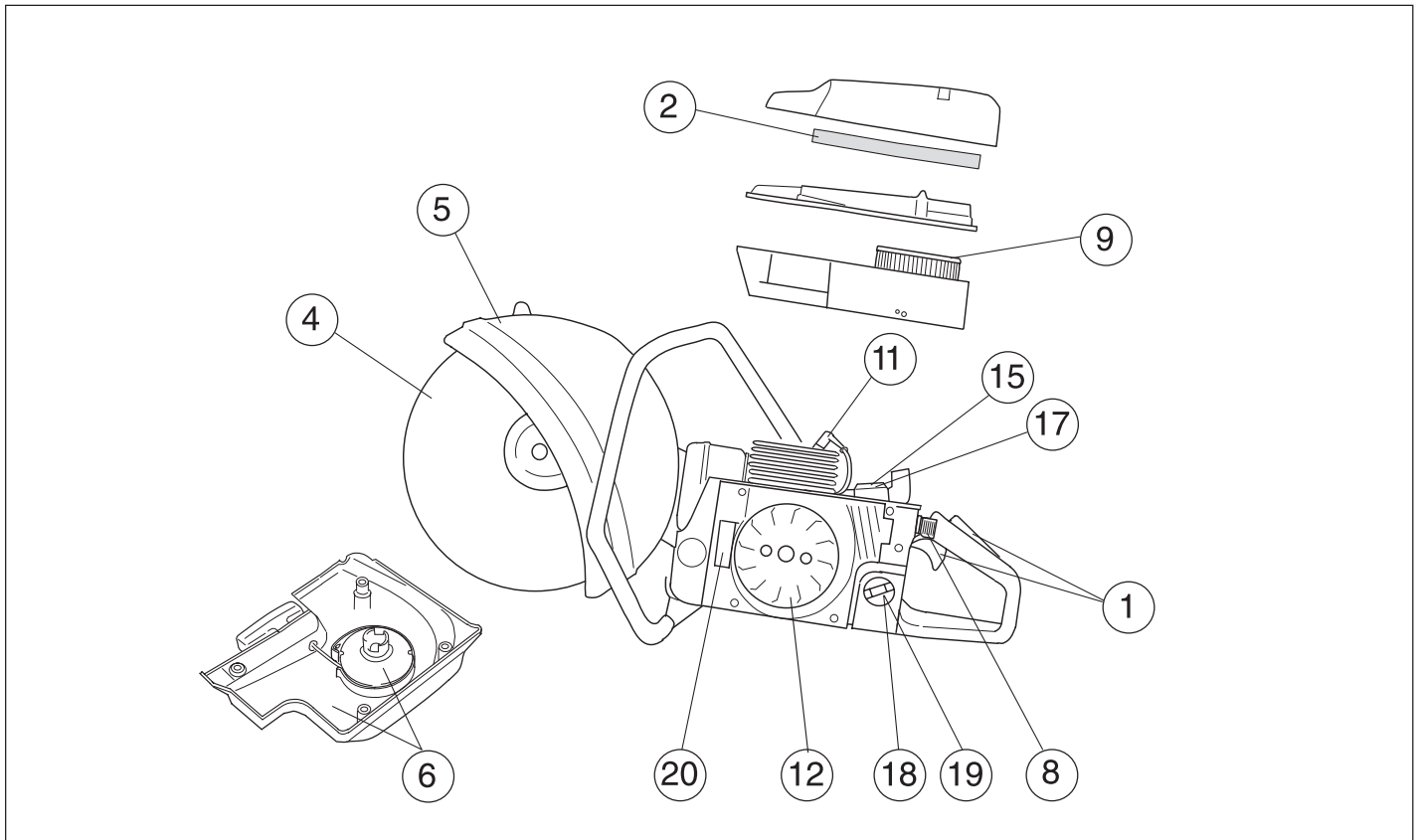
マフラー

マフラーは、騒音レベルを減少させ排気ガスを作業者から遠ざけるために、設計されています。排気ガスは、高温で火花を含むことがあります。火花が乾燥した可燃性の物質に飛び移ると、火災発生の原因になることがあります。

マフラーが、詰まっていたり欠陥があったりする場合は、決して本機を使用しないでください。



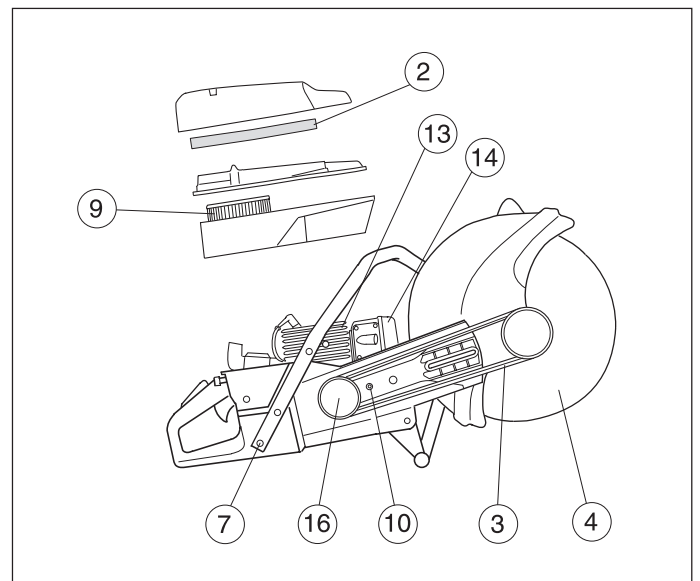
メンテナンス



メンテナンスについて、概略を以下に説明します。詳しい説明が必要な場合には、お近くのサービスセンターにご連絡ください。

毎日のメンテナンス

1. 安全性の観点から、スロットル部品が正確に働くかどうかを確認する。(スロットルおよびスタータースロットル・キャッチ)
2. メインフィルタを清掃する。
3. ドライブベルトの張りぐあいを点検する。
4. カuttingブレードの状態を点検する。
5. ブレードガードの状態を点検する。
6. スターターおよびスターターロープを点検する。
また、スターターの空気取り込み口の外側を清掃する。
7. すべてのナットおよびボルトが確実に締められているかどうかを確認する。



毎週のメンテナンス

9. 予備紙フィルタを点検する。
10. ハンドルおよび防振部品が損傷を受けていないかどうかを確認する。
11. スパークプラグを清掃する。電極間隔が0.5mmになっているかどうかを確認する。
12. フライホイールの冷却フィンを清掃する。スターターおよびリコイルスプリングを点検する。
13. シリンダーの冷却フィンを清掃する。
14. マフラーを点検する。

毎月のメンテナンス

16. 損耗に関して、クラッチドラムやドライブプーリー、クラッチパネを点検する。
17. キャブレターの外側を清掃する。
18. 燃料フィルタおよび燃料ホースを点検し、必要に応じて交換する。
19. 燃料タンクの内部を清掃する。
20. すべてのワイヤーおよび接続部を点検する。

主要諸元

エンジン	K1250	
排気量、cm ³	119	
口径、mm	60	
行程、mm	42	
アイドルリング回転数、rpm	2500	
推奨アイドルリング最大回転数、rpm	9750 (+/- 250)	
出力、kW/ rpm	5.8/9000	
イグニションシステム		
イグニションシステムのメーカー	EM	
イグニションシステムの型式	ET	
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y/ NGK BPMR 7A	
電極ギャップ、mm	0.5	
燃料および潤滑システム		
キャブレターのメーカー	Walbro	
キャブレターの型式	WG9	
燃料タンク容量、リットル	1.25	
重量		
燃料およびカッティングブレードなしの パワーカッター本体、kg		
14" (350 mm)	13.6	
16" (400 mm)	14.1	
騒音レベル		
(注記1参照)		
実測音響レベル dB(A)	118	
保証音響レベル L _{WA} dB(A)	118	
音量レベル		
(注記2参照)		
使用者聴覚での等価音圧レベル、 EN 1454に基づく実測値、dB(A)	102	
振動レベル		
ハンドルの振動、EN 19432 に基づく実測値	14" (350 mm)	16" (400 mm)
フロントハンドル、相当値、m/s ²	4.9	5.1
リヤハンドル、相当値、m/s ²	6.3	5.2

注記 1: EC 指令 2000/14/EC に則し音響効果 (L_{wa}) として測定した、環境への騒音排出量

注記 2: 等価騒音レベルは、以下の時間分割比で、アイドルリングと最高速度の作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます: 1/2 アイドリング、1/2 最高速度

カッティング装置

カッティングブレード	最高周速、m/s 出力シャフト最高速度、rpm	
14" (350 mm)	100	5100
16" (400 mm)	100	4700

EC 適合宣言

(ヨーロッパにのみ適用)

Husqvarna Construction Products、SE-433 81 スウェーデン、パッティレ市、電話：+46-31-949000は、単独責任のもとで宣言します。2006年のシリアル番号以降（年は銘板に連続したシリアル番号と共に明記）のパワーカッター **K1250**は、評議会指令 (COUNCIL'S DIRECTIVES) の規定に適合しています。

- 1998年6月22日付け「機械類に関する」**98/37/EC**、付録 IIA
- 1989年5月3日付け「電磁波適合性に関する」**89/336/EEC**と適用補足文書
- 2000年5月8日付け「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC**

騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

次の標準規格にも適合しています：**SS-EN ISO 12100:2003, EN-ISO 55012:2002, EN 1454, ISO 19432**

さらに SMP、Svensk Maskinprovning AB、Fyrisborgsgatan 3、SE-754 50 ウブサラ、スウェーデンは、議会指令 2000/14/EC の補足 V に従って適合性査定を実施しました。認証番号：**01/169/004 - K1250**

2006年11月14日、パッティレにて



開発部長 Ove Donnerdal (オブエ・ドンネルダル)



1150292-79



2006-12-18